



10月の園だより

2026年度
真愛幼稚園

10月の 聖書のことば

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」

(ローマの信徒への手紙 12 章 15 節)

主 題 やってみよう

- ・体を使って思いっきり遊ぶ
- ・音に親しむ
- ・違いを認め合う
- ・あこがれをもつ

さんびか 「うたいましょう」 「めぐみうけて」

う た ばら: 「おかしなすきなまほうつかい」
たんぼぼ: 「まつぼっくり」 もも: 「どんぐりころころ」

10月の主な予定

1 日 (木)	2027 年度入園願書受付
2 日 (金)	身体測定 (たんぼぼ)
5 日 (月)	身体測定 (もも・すみれ)
6 日 (火)	身体測定 (ばら)
7 日 (水)	体育教室 (ばら・たんぼぼ)
10 日 (土)	うんどうかい
13 日 (火)	振替休園日
14 日 (水)	英語であそぼう
19 日 (月)	お茶教室 (ばら・たんぼぼ)
20 日 (火)	避難訓練 (車中救援指導)
23 日 (金)	10 月誕生会
27 日 (火)	いもほり
30 日 (金)	ハロウィンごっこ

11月の主な予定

2 日 (月)	園外保育 (うみたまご)
3 日 (火)	バザー
4 日 (水)	振替休園日
5 日 (木)	身体測定 (もも・すみれ)
6 日 (金)	身体測定 (ばら・たんぼぼ)
11 日 (水)	英語であそぼう
16 日 (月)	お茶教室 (ばら・たんぼぼ)
17 日 (火)	消防立ち合い訓練
18 日 (水)	体育教室 (ばら・たんぼぼ)
20 日 (金)	11 月誕生会
26 日 (木)	こひつじ会
27 日 (金)	収穫感謝礼拝・料理
12 月 21 日	～23 日午前保育・個人面談 写真販売
12 月 24 日	2 学期終了式
12 月 26 日	～1 月 6 日園休日

※急きょ予定が変更・中止・延期になる場合があります。ご了承ください。

10月たんじょうのおともだち
28日 えぐち みさと さん 6さい

10月の保育料について

- ・ 保育料 無償化の為保育料はありません。
- ・ 保護者会々費 600円
- ・ 施設費 (在園児毎月550円)、(新入園児毎月1,600円)
- ・ バス代 4000円(片道2000円)
- ・ 給食費 10月分(15回、しんあい給食1回 計16回)
- ・ 月刊おおぞら 480円(年長のみ)
- ・ 卒園アルバム積立 500円(年長のみ)

★陶芸教室(年長のみ)1500円と園外保育(うみたまご)700円は11月に引き落としします。
10月の引き落としは10月5日(月)となります。

★預かり希望の方は事務所に用意している申込用紙に記入して連絡帳に挟んで担任に渡してください。または事務所にお持ちください。緊急性のない場合の当日預かりはお引き受けできない場合があります。

10月予定より

☆1日(木)入園願書受付開始

知り合いの方がいましたら資料をお渡しします。声掛けをお願いします。

☆10日(土) うんどうかいについて(全園児・すみれ)

日時: 2026年10月10日(土) 午前9時~12時

集合: 8時45分までに登園してください。送迎バスはありません。車はできるだけ近くのコインパーキングをお願いします。

場所: 真愛幼稚園 園庭

服装: 体操服上下、汗拭きタオル、水筒

※髪留め、ヘアゴムは飾りのないものをお願いします。

※帽子のかぶれない髪型にならないようにしてください。



雨天時 10月12日(月・祝)を予定しています。振替休園日は13日(火)です。

参加: 参加自由ですが、せまい園庭ですので、場所とりはゆずりあいをお願いします。

開門: 当日朝8時より場所とりはできますが、一度退出していただいて8時45分開門とします。

※運動会前日は午前保育で運動会準備をします。仕事の都合の方のみ午後の預かりをします。その際はお弁当を持参ください。

※延期の場合は幼稚園から7時前後にメールを送信します。

☆20 日（火）車中救援避難訓練（全園児・すみれ）

車中取り残しはあってはなりませんが、子どもたちが自分の身を守る方法の一つとして車のクラクションを鳴らして助けを求める方法があります。今年も体重を乗せてクラクションを鳴らす訓練をします。

☆23 日（金）10 月誕生会

10 月誕生児の保護者は 10 時 25 分までに幼稚園から入って礼拝堂でお待ちください。10 時 30 分より誕生礼拝と誕生会をします。昼食は各クラスに分かれて、保護者の方も一緒に召し上がっていただきます（保護者は園児 1 名につき 1 名です）。昼食後保護者は先に退出してください。

☆27 日（火）いもほり（全園児）

子ども用の軍手は園で用意します。サツマイモのつるの部分から汁が服につくと取れませんのでスモックを着用します。長ぐつは袋に入れて持たせてください。

※いもほりの日程は天気・成長具合によって変更になることもあります。



☆30 日（金）ハロウィンごっこ（全園児・すみれ）

現在のハロウィンは古代ケルト人のような宗教的意味合いはなく、子どもたちは仮装して教会、公会堂、園長の家、ばら組の部屋を巡って「トリック・オア・トリート」（おかしいたずらか）と言いながら、ちょっとしたパレードを行います。

☆11 月 2 日（月）園外保育（全園児）

バザー前日の準備のため園外保育に出かけます（すみれ組は園庭や公会堂の散策をします）。この日はおにぎりを持って出かけますので、おやつ抜き遠足の用紙をお願いします。

☆11 月 3 日（火）しんあいバザー（全園児・すみれ）

詳しくはバザーだよりをご覧ください。誰でも気軽に参加できます。今年も鉄板やテント、片付け、搬出などご協力いただける方は、当日お手伝いをお願いします。

☆11 月 26 日（木）こひつじ会

礼拝堂にてアフリカンサファリ園長の神田岳委さんに講演に来ていただくことになりました。席に限りがありますので、保護者以外先着 30 名とさせていただきます。

義援金への協力ありがとうございました

幼稚園、教会学校、別府教会で集めた熊本地震義援金は 41,693 円となりました。21,693 円を隣の公会堂に設置している熊本地震義援金箱に各クラス 4 つの袋に分けて、子どもたちみんなで届けに行きました。残りの 20,000 円は日本基督教団九州教区の被災地支援献金に送りました。今年は北陸や東日本では豪雨被害、九州では地震と自然災害が頻発しています。自宅でも備蓄品の用意をしておくことをお勧めします。

神田 岳委さん 講演会

2026 年 11 月 26 日（木）10 時～

主 催：こひつじ会 無料

場 所：別府教会 礼拝堂



神田岳委さん臼杵市出身で九州自然動物公園アフリカンサファリの園長兼獣医師で、動物愛にあふれる専門家です。

神田さんは動物の健康管理と飼育を専門とし、動物たちの幸せを第一に考えた飼育方針で知られています。園内では、ライオンやゾウ、シマウマなど約 70 種 1,400 頭の動物を管理し、サファリロードやふれあいゾーンでの展示・体験活動にも関わっています
著書・メディア

「サバンナに生きる」（大分合同新聞社）や写真集「もふもふ日誌」（リブレ出版）を出版しています。さらに、テレビや OBS ラジオなどでも活動し、獣医師や飼育員の視点から動物の魅力や命の尊さを伝えています。

保護者以外でぜひ聞きたい方もどうぞ。定員 50 名になり次第締め切らせていただきます。

やさしさに包まれて

キリスト教保育の中心には、「神さまに愛されている存在として、互いを大切にする心を育む」という願いがあります。子どもたちは、日々の生活の中で出会う出来事を通して、少しずつ“やさしさ”を身につけていきます。聖書には「互いに愛し合いなさい」（ヨハネ福音書 13 章 34 節）という言葉があります。その前提には、「神さまがまず私たちを愛してくださった」という事実があります。子どもがやさしさを身につけるためには、「自分は大切にされている」「受け入れられている」という安心感が欠かせません。家庭でのひとこと、抱きしめる時間、共に過ごす穏やかなひとときが、子どもの心の土台になります。それは何でも子どもの言うことを親が聞く従属的な関係ではなく、互いに必要な存在としての信頼の積み重ねと言えます。真愛幼稚園では、友だちに譲る、順番を待つ、困っている子に声をかけるなど、日常の中にある小さな思いやりを大切にしています。

子どもは時に、意地を張ったり、怒ったり、友だちを傷つけてしまうことがあります。しかし、キリスト教の視点では、失敗は“成長の機会”です。「ごめんね」と言える勇氣、「いいよ、と許す」経験、「もう一度やり直せる」希望。これらはすべて、やさしい心を育てる大切なステップと言えます。

そんなやさしい心を育む絵本はたくさん出ていますが、いくつか紹介していきます。

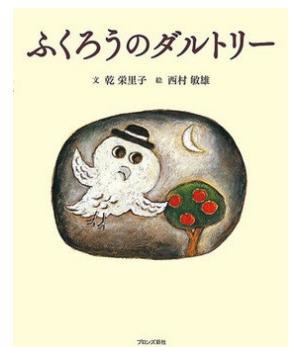


「ええところ」（くすのきしげのり作、ふるしょうようこ絵、Gakken）

自分に自信のない小学校 1 年生の女の子。でもそんな女の子に友だちが「ええところ」を見出します。本当に優しいのは寄り添う姿の中にあることを教えてください。

「ふくろうのダルトリー」（乾 栄里子 作、西村敏雄 絵、ブロンズ新社）

夜活動するふくろうのダルトリーのことを知らない子がいるように、昼活動する子のことを知らないダルトリー。最初はふくろうがとても孤独に感じましたが、月の満ち欠けをこんな風に捉え、一生懸命な姿が心を打つ話は、他に思いつきません。これから広い社会に出ていく準備をしている子どもたちに、信じてもらいたいものがあります。





「いちばんと いちばんじゃないぼく」(ふいーる・作)

「いちばん」と「いちばんじゃない」をテーマにした絵本です。小学校中学年ごろに感じる心の変化を見つめ、人との関わりについて考えます。人間関係や友情が少しずつ広がっていくことを、絵本を通して捉えます。小学生から大人まで、それぞれの経験に重ねて読める一冊です。

「ぼくと、はずかしい」(コダマ カズヤ作)

人前で失敗したとき。うまく話せなかったとき。気づくと、モコモコとした白い生きもの「はずかしい」が、そばにいる。ある日、ぼくは気づきます。「はずかしい」は、敵でも怪物でもなかった。ずっと、ぼくを守ってくれていたのだと。いつも隣にいる「はずかしい」という気持ちに、そっと寄り添うための絵本です。



「わたしとなかよし」(ナンシー・カールソン作、なかがわちひろ訳、瑞雲社)

周りに対する自分っていうものを考えるようになったことでいいことだとは思いうんだけど、親としては心配する面もあります。こぶたさんのあまりにも“自分大好き”を前面に出したお話に最初は「なんだこれ？」って思いますが、まずは自分が自分を大好きにならないといけません。自分を大好きになる絵本です。

「おくりものはナンニモナイ」(パトリック・マクドネル作、

谷川俊太郎訳、あすなろ書房)

何でも持っている友だちに贈る最高の贈り物って何だろう？

読んでいとわかります

(園長 庄司 宜充)

おくりものはナンニモナイ
The Gift of Nothing



パトリック・マクドネル/谷川俊太郎